

令和元年度事業報告書

I 設立目的

本公社は、環境と共生する快適なまちの形成に資するため、環境とまちづくりに関する事業を推進し、都市機能の維持・増進、環境への負荷の低減、公衆衛生の向上および環境の保全に努め、もって練馬区の健全な発展と、住民の福祉の向上に寄与することを目的とする。

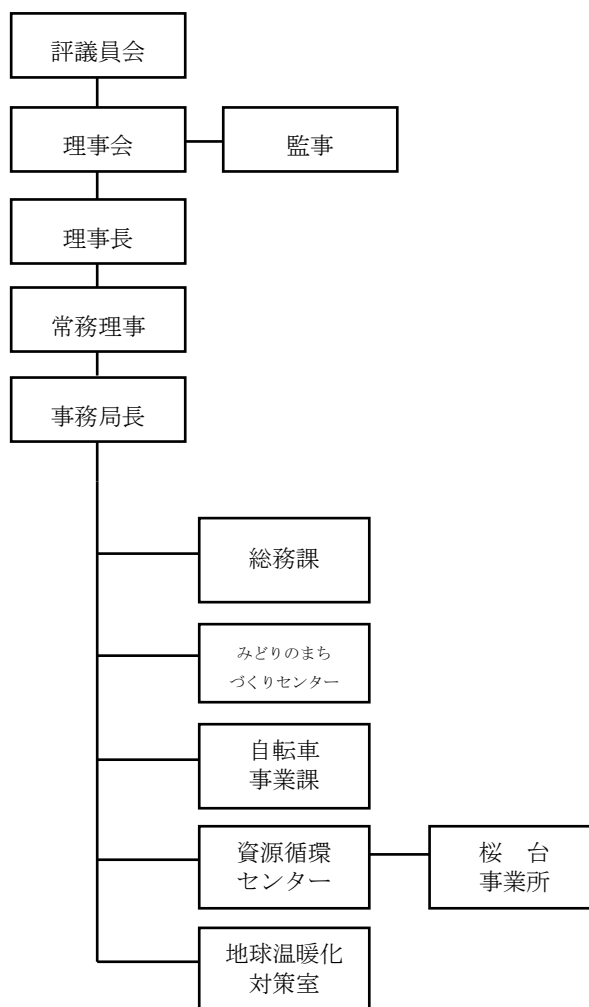
II 沿革

昭和 62 年 (1987)	11 月 10 日	財団法人練馬区都市整備公社発足
平成 元年 (1989)	9 月	ねりまタウンサイクル管理運営業務受託
平成 4 年 (1992)	5 月	三原台三丁目土地区画整理共同施行事務局業務受託
	7 月	区立有料自転車駐車場管理運営業務受託
平成 5 年 (1993)	1 月	練馬春日町駅西地区市街地再開発組合事務局業務受託
	12 月	中里土地区画整理組合事務局業務受託
平成 8 年 (1996)	8 月	石神井公園駅北口地区市街地再開発組合事務局業務受託
平成 10 年 (1998)	2 月	三原台二丁目土地区画整理組合事務局業務受託
平成 17 年 (2005)	4 月	自転車集積所管理運営業務受託
平成 18 年 (2006)	4 月	区立自転車駐車場等の指定管理者受託
	4 月	放置自転車対策事業受託
	4 月	練馬まちづくりセンター開設
平成 22 年 (2010)	4 月	容器包装プラスチック回収業務・粗大ごみ収集業務受託
	4 月	練馬区福祉のまちづくり協働推進拠点事業受託
	4 月	練馬区地球温暖化対策地域協議会事務局業務受託
	11 月	練馬区資源循環センター管理運営業務受託
平成 23 年 (2011)	5 月	練馬区より景観整備機構指定
	7 月	練馬区景観形成支援事業業務受託
	11 月	公社立豊島園駅前自転車駐車場開設
平成 24 年 (2012)	4 月 1 日	公益財団法人練馬区環境まちづくり公社に移行
平成 26 年 (2014)	3 月	公社立石神井公園駅東・西自転車駐車場開設
平成 27 年 (2015)	4 月	可燃ごみ・不燃ごみ収集業務受託
平成 28 年 (2016)	4 月	みどり事業受託
平成 29 年 (2017)	4 月	空家地域貢献事業受託
	10 月	公社立平和台駅みどり自転車駐車場開設
平成 30 年 (2018)	5 月	公社立氷川台駅さくら自転車駐車場開設
令和 元年 (2019)	11 月	公社立練馬駅つつじ自転車駐車場開設

Ⅲ 基本財産

2 億円（全額練馬区からの出資金）

Ⅳ 組織・社員数（令和 2 年 3 月 31 日現在）



評議員 7 名

役員 16 名（理事長 1 名、常務理事 2 名、非常勤理事 11 名、監事 2 名）

社員数 301 名（本部運営 9 名、まちづくり事業 15 名、自転車適正利用事業 87 名、資源循環推進・資源回収事業 187 名、地球温暖化対策事業 3 名）

V 事業目的

本社は、平成24年4月1日の公益財団法人練馬区環境まちづくり公社への移行後も練馬区の行政を補完して、環境と共生する快適なまちを実現するため、様々な事業に取り組んできた。

今後も環境とまちづくりに関する事業を推進し、都市機能の維持・増進、環境への負荷の低減、公衆衛生の向上および環境の保全に努め、住民福祉の向上に貢献していく。

これらの目的を達成するために、

- (1) 都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための調査、研究およびその成果の普及
- (2) 都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための普及啓発
- (3) 都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための相談、助言および援助
- (4) 練馬区まちづくり条例に基づくまちづくりに必要な支援
- (5) 区と協働して取り組む、まちづくりの企画、立案および推進に関する事業
- (6) 自転車等の適正利用に関する事業
- (7) 資源循環の推進に関する事業
- (8) 可燃ごみ・不燃ごみの収集に関する事業
- (9) 地球温暖化の防止対策に関する事業

を実施している。

令和元年度における各事業の実施状況について、以下にその概要を報告する。

VI 事業報告

1 みどりのまちづくりセンター事業〔定款第4条第1項第1～3号〕

(1) みどり・景観事業の推進

① 憩いの森等を保全する活動団体の育成事業

1) 西本村憩いの森

西本村憩いの森の保全・活用を区民主体で推進する団体を育成するために森の管理活動指導や協働による森の実態調査、地域との連携イベントを実施した。

項目	内 容	参加者数
保全・育成活動	森もりファンクラブ in 西本村活動：11回 (草刈り・剪定などの管理作業、看板・掲示板、ロゴマーク作成等の話し合い、調査結果による勉強会の実施) ※3月の定例活動は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	156名
森の調査	専門家による調査実施の体験参加：4回 (植物、生きもの、樹木調査)	20名
地域連携イベント	6/23 大泉ファーマーズマーケット出展	8名
	10/20 森のお楽しみ会協力	48名

2) 南高松憩いの森

活動団体「南高松森もりファンクラブ」による管理運営活動の支援を行い、自立的な団体を育成した。

項目	内 容	参加者数
定例活動	南高松森もりファンクラブ活動：36回 (園内清掃、草刈り、剪定、次回活動予定の打ち合わせ等)	204名
運営会議・総会	運営会議 5回 (5/28、7/2、10/31、1/14、3/2)、総会 (5/28)	—
啓発事業	8/4 セミの羽化観察会 ※3月の啓発事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	33名
地域連携イベント	12/1 高松マルシェ出展 2/5 第1回高松まちづくり研究会参加	—

3) うめのき憩いの森

活動団体「北西うめのき会」による管理運営活動の支援を行い、自立的な団体を育成した。

項目	内 容	参加者数
定例活動	北西うめのき会管理活動：37回 (園内清掃、草刈り、生垣・梅木剪定等)	253名
啓発事業	6/2 ウメの実の収穫体験および頒布	80名
	8/3 セミの羽化観察会	50名
	1/12 安全管理および剪定講習会	15名

② 地域ぐるみでの緑化およびみどりを守る仕組みの構築支援事業

地域ぐるみでの緑化推進やみどりを守る仕組みを構築するために、みどりの街並みづくりのモデル事業に取り組み、既存制度の見直し案を検討した。

項目	内容
課題の把握と参考事例調査	<ul style="list-style-type: none"> ・区の緑化に関する制度のヒアリング ・みどりの協定地区へのヒアリング、アンケート調査 ・他自治体の参考事例調査
モデル事業の実施と考察	<ul style="list-style-type: none"> ・光が丘パークタウン公園南住宅団地（みどりの協定地区） ・春日町町会（みどりの協定地区）
制度の見直し案	<ul style="list-style-type: none"> ・関連制度の課題整理 ・実現したいシナリオと支援のあり方の検討 ・みどりの協定の見直し案の検討

③ つながるカレッジみどり分野カリキュラム構築事業

「コミュニティ・ガーデナーコース」のカリキュラムの作成、受講生募集ならびに開講準備を行った。併せて「ねりまの森サポーターコース」のカリキュラム等の検討を行った。

項目	内容
コミュニティ・ガーデナーコース	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方針と講師の検討、カリキュラム、シラバス等の作成 ・受講生募集、応募者選考会の実施
ねりまの森サポーターコース	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方針とカリキュラム等の検討

④ 公共施設等緑化協働支援事業

区立施設等でボランティア、施設関係者や施設利用者等が協働して行う緑化活動の育成支援を行った。また、ボランティアの新規募集に伴い、初心者向け講習会を開催した。

項目	内容	参加者数
定例活動	<ul style="list-style-type: none"> ・貫井福祉園等 20 か所 花苗の植え替え、花壇管理等 ※3月の定例活動は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 	1,240名

開催日・場所	内容	参加者数
11月29日 生涯学習センター	園芸福祉初心者ボランティア講習会① 施設での花壇活動について／施設職員 園芸の基礎知識について／杉下裕紀（グリーンアドバイザー）	9名
12月3日 大泉障障者地域生活支援センターさくら	園芸福祉初心者ボランティア講習会② 施設での花壇活動について／施設職員 園芸の基礎知識について／杉下裕紀（グリーンアドバイザー）	5名
2月7日 区民・産業プラザ研修室	ボランティア交流会・スキルアップ講習会 花のネームプレートづくり／海野真幸（NPO法人自然工房めばえ）	13名

⑤ 景観形成支援事業

1) 情報発信・相談支援

練馬区景観ホームページ「ねりま景観まちづくり」の運用・保守を行い、登録されている景観資源の周知や景観への意識醸成を図った。

「ねりまの散歩道」について、より利用しやすい地図とすることを目的に、全9コースの紙面構成等を改訂した。

また、区民・事業者等に対し、景観に関する情報提供や相談対応を行った。

2) 地域景観資源登録制度の見直し

景観資源の保全・活用の取組を発展させるため、地域景観資源登録制度の見直し、事例調査、新たな制度案の検討等を行った。

3) 景観まちづくり講座

景観について、区民の関心を高める景観まちづくり講座を行った。

開催日・場所	内 容	参加者数
2月2日 練馬区立石神井 図書館・会議室	「いわさきちひろが描いた練馬の風景ストーリー×武蔵野台地の景観」 講演①「風景が描かれた背景」や「風景の裏にある暮らし」 講師：松本 猛 (ちひろ美術館常任顧問、美術・絵本評論家) 講演②「武蔵野台地と練馬の土地の成立」 講師：小宮 佐知子 (練馬区立石神井公園ふるさと文化館学芸員)	45名

4) 景観まちなみ協定地区への支援

協定地区について活動状況のヒアリングを実施し、活動課題等の現況把握を行った。

- ・北町旧川越街道地区（旧川越街道の歴史を活かしたまちなみ協定）
- ・大泉北泉町会地区（花咲く小路づくりまちなみ協定）
- ・春日町三丁目豊島園通り地区（春日町、話し花咲くまちなみづくり協定）
- ・旭丘千川通り商店街地区（花で人と道をつなぐ千川通りの景観づくり協定）
- ・東大泉四丁目地区（東大泉4丁目の歴史、自然を活かした景観まちなみ協定）

5) 景観整備機構としての取組

芝浦工業大学と連携し、調査研究として、練馬区の景観分析を行った。

(2) まちづくり事業の推進

① まちづくり啓発

1) まちづくり講座の開催

まちづくりへの関心を高める講座の開催を企画し、開催準備を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期とした。

開催日・場所	内 容	申込者数
2月28日(延期)	地域空間資源を活用して地域課題を解決する「ねりまのプレイスメイキング」 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期	(申込51名)

2) まちづくり活動助成事業

区民主体のまちづくり活動を支援するため、下記のとおり活動助成事業を行った。

[たまご部門]

身近な生活空間の保全・改善・創造のためのまちづくりを始めるにあたっての活動に対する助成

	団体名／活動提案名	助成金額
1	虹のカフェ大泉 ／子どもから高齢者まで、多世代にわたり交流し、居場所をつくることにより、地域のきずなを深める	50,000
2	武蔵Talk ／日本語学習者とその地域の学生、住民が繋がる異文化交流	50,000
3	東京学芸大学附属国際中等教育学校 ボランティア部 jimoto プロジェクト練馬チーム ／中高生による地域活性化プロジェクト	50,000
4	f-style 地域活性プロジェクトチーム ／育児中の女性(男性)のつながりを強め、誇りを持って暮らせる地域をつくる	50,000
5	桜台花クラブ ／花活で「街」に元気を！ ～庭づくりで元気を「おすそわけ」～	50,000
6	ちいくタイム information ／「太宰治と文学の聖地・練馬」をテーマにした地域振興勉強会と多世代交流	50,000

[はばたき部門]

身近な生活空間の保全・改善・創造につながり、成果が地域へ還元されることが期待できるまちづくり活動への助成

	団体名／活動提案	助成金額
1	大泉隠れ家つながり隊 ／大泉地区の隠れ家などをつなげて街を盛り上げたい	300,000

2	小竹町・こたけひろば ／町会×親子マッチング！多世代がゆるやかにつながるまちへ	240,000
3	練馬植樹推進会 ／美しいみどりのまちなみづくりプロジェクトⅡ	300,000
4	特定非営利活動法人 Sports Assistants ／スポーツ体験を通じた地域交流会	300,000
5	光が丘図書館利用者の会 ／図書館でつながる、図書館からひろがる	300,000
6	石神井つながりの会 ／高齢者のひきこもりを減らし、健康で楽しく交流の場をつくる	192,000
7	地域福祉スペース⇒CASA ワイワイ！ ／実家に集（つど）って みんな一緒にワイワイ！育ちあう。	300,000
8	ここはぴ ／親子で友達の輪を広げよう	300,000
9	特定非営利活動法人 元気力発電所 ／新環境ステーション開設プロジェクト	216,000
10	特定非営利活動法人 自然工房めばえ ／練馬高松の農の風景まちづくり	300,000
11	「井」企画室 ／石神井町6丁目蔵プロジェクト～「蔵のある平屋」をイトコに～	300,000

[公開審査会および報告会]

名 称	開 催 日・場 所	内 容
公開審査会	6月16日 武蔵大学8号館8603教室	はばたき部門の団体を審査・選定した。
中間報告会	10月26日 練馬区職員研修所研修室	はばたき部門の助成を受けた団体が、活動の進捗状況の報告を行った。 助成OB団体も参加し、意見交換した。
最終報告会	3月20日（中止※）	今年度助成を受けた団体の活動報告 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

[まちづくり活動助成事業年次報告書「まち活通信」の発行]

まちづくり活動助成事業の実施概要および助成団体を紹介する「まち活通信」を作成した。

- ・規 格：A4判小冊子カラー・28ページ
- ・発行部数：500部

3) まちづくり情報誌の発行

区民のまちづくりへの関心を高めるため、地域やみどりをテーマにまちづくり情報誌「こもれび」を発行した。

- ・規格：タブロイド判カラー4ページ
- ・発行回数：年3回（6月・10月・2月） ・発行部数：各号20,000部
- ・配置場所：区内公共施設、各駅広報スタンド、郵便局、特集地区内新聞折込等

発行号	発行月	内 容
第68号	6月	いろいろな顔をもつまち高野台
第69号	10月	あのすてきな公園どうやってつくったの？
第70号	2月	さんぽのススメ“練馬区練馬”を歩こう

4) ホームページ等による情報発信

まちづくりに関する情報をより多くの方に提供していくため、みどりのまちづくりセンターのホームページにより、各種事業やまちづくり活動等に有益な情報を発信した。

② まちづくり相談

1) まちづくり登録団体支援

登録団体に対し、まちづくり活動に必要な打合せスペースの提供を行うとともに、印刷機利用等の支援やプロジェクター等の貸出を行った。

- ・登録団体数：163団体 ・利用者数：個人104名、団体529名

2) まちづくり交流事業

メールアドレス登録者に対し、メールマガジン（月刊まちセンナビ）によるまちづくりの情報発信を行った。（毎月25日・年12回発信）

また、登録団体向けにイベント情報やまちづくり活動のスケジュールをチラシとともに郵送する「まちセンニュースパック」を発送し団体間の交流を促進した。

3) ライブラリー運営

区民の方のまちづくり活動の参考となる図書や冊子、パンフレット等を配架した「情報コーナー」を設置している。

4) 建築無料相談の後援

一般社団法人東京都建築士事務所協会練馬支部と連携し、協会が実施する建築無料相談事業（毎月第4月曜日）の後援を行った。

- ・年間相談件数：48件

③ まちづくり条例に基づく大規模建築物等に係る専門家派遣

大規模建築物等の計画に関する周辺住民と事業者の話し合いに対して専門家派遣を実施する制度について、今年度は派遣に至る案件は発生しなかった。

・相談件数 1 件（対応 5 回） ・派遣件数 0 件

④ まちづくり条例に基づく地区まちづくり協議会等の支援

1) 高野台 5 丁目中央地区住みよいまちづくりの会（総合型まちづくり協議会）

項目	内 容
窓口対応業務	・まちづくり憲章窓口説明 : 4 回
団体支援	・定例会・まちづくり勉強会支援 : 11 回 ・団体が主催するまちづくりイベントの支援 : 3 回 ・団体発行ニュースの作成支援 : 1 回

2) 武蔵関・環境を守る会（総合型まちづくり協議会）

項目	内 容
窓口対応業務	・建築協定に関する窓口説明 : 6 回 ・建築協定の申請窓口の代行 : 2 回
団体支援	・建築協定に更新委員会の開催 : 1 回 ・ワーキング会議の開催 : 5 回 ・武蔵関地区現況調査 : 1 回 ・練馬区開発調整課との協議 : 1 回

⑤ 地区まちづくりの活動支援

1) 高松地区

開催日・場所	内 容	参加者数
7 月 7 日 高松 1 丁目周辺	「第 8 回東京ねりま高松マルシェ」 開催の広告・周知サポート。農の風景育成地区におけるまちづくりの紹介等。	50 名
12 月 1 日 高松 1 丁目周辺	「第 9 回東京ねりま高松マルシェ」 世界都市農業サミットとの連動企画として農の風景育成地区や高松地区のまちづくりの取組を紹介	500 名
12 月 1 日 世界都市農業サミットへの参加・発表	「世界都市農業サミット」の合同分科会への参加および第 3 分科会「農地の保全・創造」として、高松地区の取組を発表	900 名 (分科会参加者)
2 月 5 日 高松まちづくり 研究発表会	高松地区を題材にした学生等の研究や地域の実践活動の発表会の開催 ・大学等への継続的支援 (東京大学大学院) (東京都市大学) (東京都市大学大学院)	発表者 9 名 参加 30 名

高松まちづくり会議	高松地区で、区民主体のまちづくりに取り組み、調査活動やイベントを開催する会議体の活動支援：3回
-----------	---

2) 大泉学園町地区

<庭などをめぐり、地域の良さを知るイベントの実施>

開催日・場所	内 容	参加者数
4月20日 大泉学園町 6、7、8丁目界限	茶・庭・菓をめぐるちっちゃい旅 「ちやい旅」2019春	598名
11月16日 大泉学園町 6、7、8丁目界限	茶・庭・菓をめぐるちっちゃい旅 「ちやい旅」2019秋	564名
歩いて楽しめるまちの会	地域住民等が意見交換等を行う場の進行等の支援 ：6回	

3) 江古田駅周辺地区

過去5年間の江古田駅周辺地区まちづくりの取組を『とにかく江古田！プロジェクト（2014～2019）記録集』としてとりまとめた。

4) 練馬駅南地区

開催日・場所	内 容	参加者数
5月16日 豊玉北六丁目第二アパート集会室	第27回練馬駅南地区まちづくり憲章を推進する会	11名
9月19日 練馬子ども家庭支援センター練馬駅南分室会議室	第28回練馬駅南地区まちづくり憲章を推進する会	13名
1月16日 練馬子ども家庭支援センター練馬駅南分室会議室	第29回練馬駅南地区まちづくり憲章を推進する会	11名
清掃活動支援	地区内における清掃活動：8回	

⑥ 空家等地域貢献活用事業

空家所有者や活用希望者からの相談対応、マッチング等を実施し、1件の成立を達成した。

また、区の空家事業との連携や事業推進のための情報発信等を行った。

- ・登録：空家所有者 3件 空家活用希望者 26件
- ・相談：空家所有者60件 空家活用希望者136件
- ・地域貢献事業補助金活用件数：1件

<空き家活用相談会>

開催日・場所	内 容	参加者数
7月11日 田柄地区区民館	大切な我が家を「空家」にしないために ・事例紹介、専門家による個別相談等	参加10名 (7組)
3月15日(中止※)	大切な我が家を「空家」にしないために ・事例紹介、専門家による個別相談等 ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため 中止	—

⑦ 調査研究

住民参加・協働型のまちづくりを進めていくための調査・研究活動として、「市民まちづくり支援・都市ネットワーク会議」に参加した。

総 会：7月11日(まちみらい千代田)

会 議：11月15日(名古屋都市センター)

(3) その他事業

① 福祉のまちづくり協働推進拠点事業

ユニバーサルデザインに関する相談、普及啓発、建築物のバリアフリー化推進等の事業を実施した。

項 目	内 容
区民意見聴取事業	公園および公共施設の改修、新設における区民モニターからの意見聴取 <検証> ・高松地区区民館 ・開進第四中学校 ・中里郷土の森緑地 ・清水山公園 ・石神井東中学校体育館 <意見聴取> ・上石神井北小学校 ・生涯学習センター(ヒアリングに変更)
ユニバーサルデザインパネル展示	8/16~8/20(区役所アトリウム)
店舗等のバリアフリー化普及展示	8/5~23(区役所本庁舎通路) 10/1(区役所交流会場)※事業者研修ど同時開催 12/1~3/31(平和台駅地下通路の展示スペース)
小学生ユニバーサルデザイン体験教室	<学校外での実施> 1件 (区役所多目的会議室・参加者43名) <学校での実施> 5件 (大泉小、立野小、関町小、小竹小、大泉第六小 参加者合計355名)
研修会	<技術者向け研修> 10/1(参加者数20名) <区職員向け研修> 10/2(参加者数11名)

② やさしいまちづくり支援事業

区民による福祉のまちづくり活動を支援する助成事業の審査会等の運営支援や広報等を行った。

項目	内容・回数等
事前相談	申請予定団体からの事前相談 22 団体 25 件 (4/1~4/24)
審査会等	審査会 (6/2)、報告会 (11/24)、研修会 (6/26、10/11、1/27)
広報	地域活動紹介 BOOK の作成 (16 ページ、2,000 部)
団体支援	助成団体の相談対応 (32 件)

③ みどりのまちづくりセンター運営協議会

センター事業の実施等について助言を行う機関として、みどりのまちづくりセンター運営協議会を開催した。

開催日・場所	内 容	出席委員
1 月 24 日 公社会議室	第 31 回運営協議会	7 名

④ インターンシップの受け入れ

みどりのまちづくりセンターでインターンシップを希望する学生について、大学との協定を締結し、受け入れを行った。

期間	学校名	受入人数
8 月 26 日~9 月 6 日	東京大学大学院修士 1 年	1 名

2 自転車等の適正利用に関する事業〔定款第4条第1項第4号〕

(1) 自転車駐車場・タウンサイクルの管理運営

① 区立有料自転車駐車場およびねりまタウンサイクル

練馬区の指定管理者として、区立有料自転車駐車場、ねりまタウンサイクルの管理運営を行った。

○施設数・収容台数

区 分	令和2年3月31日現在	平成31年3月31日現在	増 減 数
有料自転車駐車場	74施設 37,516台	74施設 37,046台	0施設 470台
(うち原動機付自転車)	(24施設 768台)	(24施設 768台)	(0施設 0台)
タウンサイクル	7施設 2,700台	7施設 2,700台	0施設 0台
合 計	81施設 40,216台	81施設 39,746台	0施設 470台

[令和2年3月31日と平成31年3月31日との比較]

○新規開設・台数変更等施設(3施設)

施設名	収容台数	増減数
大泉学園駅南第1拡張(拡張整備)	30台	30台
氷川台駅第九(新規開設)	500台	500台
氷川台駅第七(閉鎖)	0台	△60台
合 計		470台(うち原付 0台)

○施設利用率

区 分	令和元年度	平成30年度	増減ポイント
有料自転車駐車場	93%	100%	△7ポイント
タウンサイクル	96%	95%	1ポイント

○収容台数・利用人数(令和元年度)

区 分	収容台数 (A)	定期利用登録人数(人/月) (B)			一時利用人数(人/日) (C)
		一般	学生	減免・免除	
有料自転車駐車場	37,516台	17,299人	5,226人	1,562人	10,648.3人
タウンサイクル	2,700台	1,870人	557人	118人	39.1人

※施設利用率 (B) + (C) / (A)

② 公社立自転車駐車場

○施設一覧

名称(開設年月日)	施設概要
豊島園駅前(H23.11.1)	時間利用専用 収容台数:99台 12時間毎100円(最初の2時間無料)
練馬駅つつじ(R1.11.1)	時間利用 収容台数:162台 8時間毎100円(最初の2時間は無料)

名称（開設年月日）	施設概要
石神井公園駅東（H26.3.1）	時間利用 収容台数：175台（うち5台は原付） 12時間毎 100円（最初の2時間は無料） （原付12時間毎 200円（最初の2時間は無料）） 定期利用 収容台数：691台 時間利用増設エリア 収容台数：122台 24時間毎 100円
石神井公園駅東拡張（R1.6.28）	時間利用 収容台数：40台 8時間毎 100円（最初の2時間は無料）
石神井公園駅西（H26.3.1）	時間利用 収容台数：308台 12時間毎 100円（最初の2時間は無料） 定期利用 収容台数：564台
平和台駅みどり（H29.10.1）	定期利用 収容台数：210台 *R2.3.31 廃止
氷川台駅さくら（H30.5.1）	時間利用 収容台数：165台 12時間毎 100円
合 計 6施設	2,536台（うち原付 5台）

○施設利用率

区 分	令和元年度	平成30年度	増減ポイント
公社立有料自転車駐車場	106%	103%	3ポイント

○収容台数・利用人数（令和元年度）

区 分	収容台数 (A)	定期利用登録人数（人/月） (B)			一時利用人数（人/日） (C)
		一般	学生	減免	
公社立有料 自転車駐車場	2,536台	1,114人	379人	104人	1,078.9人

※施設利用率 (B) + (C) / (A)

(2) 放置自転車対策事業

練馬区からの受託事業として、放置自転車対策事業を行った。

① 放置自転車等の撤去実績

区 分	令和元年度	平成30年度	増減数
自 転 車	10,075台	10,870台	△795台
原動機付自転車	83台	107台	△24台
合 計	10,158台	10,977台	△819台

<放置率>

区 分	令和元年度	平成30年度	増減数
平日（午前）	2.8%	3.0%	△0.2%
平日（午後）	4.6%	4.9%	△0.3%

② 自転車集積所の管理運営（撤去自転車の保管・返還）

返還日時 毎日（年末年始を除く）、午前9時30分から午後5時30分まで

撤去手数料 自転車4,000円、50cc以下の原動機付自転車7,000円

保管期間 撤去日翌日から1か月間

<自転車集積所一覧>

施設名	所在地	開設年月日	収容可能台数
中村自転車集積所	中村一丁目9番14号	平成元・10・1	2,100台
平和台自転車集積所	早宮二丁目18番35号	平成9・5・1	1,000台
石神井台自転車集積所	石神井台三丁目17番16号	平成5・8・1	1,000台
富士見台自転車集積所	富士見台三丁目30番20号	平成17・10・1	3,600台
合計		4施設	7,700台

<返還実績>

区分	令和元年度	平成30年度	増減数
保管自転車等台数	10,045台	10,774台	△729台
返還自転車等台数	5,746台	6,008台	△262台
返還率	57.2%	55.8%	1.4%

※保管自転車等台数は、撤去台数から廃棄台数（使用できない自転車の処分台数）を減じた台数

③ 自転車駐車場への誘導・案内

誘導員を配置して、放置自転車の抑制と自転車駐車場への誘導を行った。

今年度から、定点型の誘導・案内から巡回型の誘導・案内に変更し、放置禁止区域内を巡回することにより効果的に誘導・案内を実施した。

・平日 18 駅（江古田・桜台・練馬・豊島園・中村橋・富士見台・練馬高野台・石神井公園・大泉学園・上石神井・武蔵関・東武練馬・小竹向原・氷川台・平和台・地下鉄赤塚・練馬春日町・光が丘）

・土日 15 駅（平日の18 駅から東武練馬・小竹向原・練馬春日町を除く）

<誘導員の配置実績>

	令和元年度	平成30年度	増減数
延べ配置箇所	20,928箇所	19,279箇所	1,649箇所
延べ時間数	70,525時間	100,728時間	△30,203時間

④ 放置自転車等の問い合わせ対応

「自転車問い合わせセンター」の運営

受付日時 毎日（年末年始を除く）、午前8時30分から午後5時30分まで

（ただし、土日祝は午前9時30分から午後5時30分まで）

<内容および件数>

区 分	令和元年度	平成30年度	増 減 数
即時撤去	4,050件	4,053件	△3件
赤札撤去	1,286件	1,335件	△49件
駐輪場案内	3,262件	3,472件	△210件
その他	48件	112件	△64件
合 計	8,646件	8,972件	△326件

※即時撤去は、放置禁止区域内の放置自転車撤去

※赤札撤去は、放置禁止区域外の放置自転車撤去

(3) 公社自主事業

① 無料自転車駐車場の管理運営

練馬区との協定に基づき、公社の自主事業として無料自転車駐車場の管理運営を行った。

<施設数および収容台数>

区 分	令和2年3月31日現在	平成31年3月31日現在	増減数
無料自転車駐車場	5施設 1,111台	5施設 1,111台	0
(うち原動機付自転車)	(1施設 14台)	(1施設 14台)	0

② 自転車対策地域協議会

区内駅周辺の自転車問題解決に向け、地域の商店会・町会等に働きかけ、協働して自転車問題に取り組むとともに、地域における自転車対策地域協議会の活動支援を行った。

(1) 江古田（江古田駅周辺自転車対策地域協議会）

10月19日～11月4日の17日間、江古田駅周辺に立地する自転車駐車場の有効活用と認知度向上、さらには自転車駐車場を柱とする地域貢献を目的としたキャンペーン「江古田駅周辺自転車駐車場感謝祭」を実施した。キャンペーン期間中、江古田駅周辺の自転車駐車場の時間制利用を無料開放した。

11月23日に、練馬警察と連携して栄町本通り商店街振興組合主催の『江古田ナイトバザール』で、自転車安全利用マナーアップイベントに協力し、パネル展示によるクイズとノベルティの配布を実施した。

「江古田駅周辺地域連絡会」（7月24日、2月19日）に出席し、江古田駅周辺の放置自転車対策について報告して、地域との情報共有を図った。

(2) 石神井公園（石神井公園駅周辺自転車対策地域協議会）

「石神井公園商店街振興組合 定期通常総会」（5月27日）に出席し、自転車事業の紹介と放置自転車対策に対する協力について依頼した。

(3) 練馬（練馬駅南地区自転車対策地域協議会）

地域住民・団体によって毎月1回行われる練馬駅周辺の清掃活動に参加し、街の美化活動に協力するとともに、放置自転車の状況を地域と共有した。

「練馬駅南地区まちづくり憲章を推進する会」（5月16日、9月19日、1月16日）に出席し、練馬駅周辺の放置自転車対策について報告して、地域との情報共有を図った。

(4) 中村橋（中村橋中杉通り周辺自転車対策地域協議会）

6月8日に開催された商店街イベント「猫飛夕市」で、自転車駐車場利用と放置自転車に関する啓発を目的として、まちなかでのパネル展示による、ウォークラリーを実施した。回答者には自転車盗難防止啓発グッズを配布した。

8月31日・9月1日に開催された「中村橋阿波踊り」で、中村橋駅周辺の自転車駐車場の時間制利用を無料開放した。多数の利用があり、阿波踊り開催中の放置自転車の減少に繋がった。

「中村橋中杉通り周辺まちづくり協議会」（3月11日）に出席し、中村橋駅周辺の放置自転車対策について報告して、地域との情報共有を図った。

(5) その他

10月5日・6日に開催された「桜台フードフェスタ2019」で、桜台駅周辺の自転車駐車場の時間制利用を無料開放した。多数の利用があり、フードフェスタ開催中の放置自転車の減少に繋がった。

3 資源循環の推進に関する事業〔定款第4条第1項第5号〕

公社は、資源循環の推進を図り循環型社会の形成に寄与することを目的に、平成22年4月から練馬区内の家庭から排出される容器包装プラスチックの回収作業と粗大ごみの収集作業を区から受託している。

また、平成22年11月から練馬区資源循環センター（以下「センター」という。）の管理運営を受託しており、区民が粗大ごみ等を直接センターに持込みできる事業や粗大ごみの再利用事業、廃食用油からバイオディーゼル燃料（BDF）を精製する事業、区民・事業者等への普及啓発事業など幅広い事業を行った。

（1）容器包装プラスチックの回収事業

区内の家庭などから出る容器包装プラスチックを資源・ごみ集積所から回収し、区が指定する中間処理施設へ搬入した。

＜容器包装プラスチック回収の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
回収量（t）	429.905	455.205	417.390	448.490	436.945	407.365
前年同月比	102.4%	100.8%	98.1%	103.9%	100.4%	99.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量（t）	440.920	418.205	424.550	466.965	401.065	445.460	5,192.465
前年同月比	101.7%	101.6%	101.2%	102.9%	105.7%	106.7%	102.0%

（2）粗大ごみの収集事業

区内の家庭から出る粗大ごみは、区民の申込みに基づき収集日を決めて各戸収集した。

＜粗大ごみ収集の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収集量（t）	488.61	530.17	490.76	514.18	500.86	456.35
収集件数	18,130	21,247	21,072	21,023	20,903	19,846
前年同月比	123.1%	118.6%	115.2%	138.5%	124.2%	119.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
収集量（t）	519.19	496.87	578.92	409.24	449.00	495.81	5,929.96
収集件数	21,718	21,968	25,931	19,484	18,686	19,218	249,226
前年同月比	129.3%	119.3%	116.6%	127.7%	119.4%	122.1%	122.4%

（3）センターの受託運営

区の資源循環推進の中核的施設であるセンターにおいて、以下の事業を実施した。

① 粗大ごみ・資源の持込み事業

粗大ごみは、センターによる各戸収集のほかに区民がセンターに自ら持ち込むことができる。また、センターは、古布・廃食用油等の回収拠点になっているとともに、小型家電、乾電池、紙パック、使用済みインクカートリッジの回収拠点として回収ボックスを設置している。

なお、センターへの主な持込み実績は、下表のとおりである。

＜粗大ごみ持込みの月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
持込量（t）	72.68	86.82	89.76	65.62	74.75	68.71
持込件数	1,864	2,273	1,905	1,721	2,024	1,936
前年同月比	115.0%	122.5%	179.7%	113.5%	141.1%	129.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
持込量（t）	71.62	74.12	94.67	72.49	60.44	79.85	911.53
持込件数	1,832	2,055	2,166	1,715	1,644	2,134	23,269
前年同月比	126.2%	121.0%	123.0%	97.4%	117.4%	102.7%	122.1%

＜古布持込みの月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
回収量（kg）	4,460	7,800	4,450	3,210	3,670	5,350
前年同月比	69.1%	135.9%	165.4%	93.9%	147.4%	188.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量（kg）	3,490	4,600	5,100	3,710	3,310	4,620	53,770
前年同月比	101.2%	107.2%	121.4%	87.9%	121.2%	106.2%	114.7%

＜廃食用油持込みの月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
回収量（kg）	128	176	173	61	104	198
前年同月比	95.6%	148.0%	162.1%	50.5%	134.4%	133.0%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量（kg）	115	82	266	202	120	104	1,729
前年同月比	166.2%	34.6%	141.6%	229.9%	112.6%	68.2%	111.7%

② 粗大ごみの再利用事業

粗大ごみの中から再利用が可能なものをセンターで清掃や簡易な修理を行い、区内4か所のリサイクルセンター（関町、春日町、豊玉、大泉）に提供した。

＜再利用の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
再利用（点）	702	678	702	689	754	660
前年同月比	109.9%	94.8%	100.9%	96.5%	114.8%	118.3%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
再利用（点）	696	635	716	498	566	683	7,979
前年同月比	97.3%	95.3%	110.2%	88.5%	95.9%	91.1%	100.8%

③ バイオディーゼル燃料（BDF）精製事業

区が拠点回収（44か所）した廃食用油を、バイオディーゼル燃料に精製し、区の清掃車の燃料として提供した。2月末に区が事業の廃止を決定したことを受け、精製および区清掃車への給油を終了した。なお、区立拠点回収施設から集められた廃食用油を資源化するための仕分け作業は新年度も引き続き実施する。

＜精製・供給の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
精製量 (ℓ)	358.40	468.30	457.72	456.27	497.71	369.69
給油量 (ℓ)	284.28	507.23	439.82	451.43	444.95	415.80
精製量の前年同月比	105.8%	89.5%	102.5%	136.9%	90.5%	111.2%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
精製量 (ℓ)	281.11	407.79	408.71	291.46	121.67	0.00	4,118.83
給油量 (ℓ)	266.30	368.24	412.20	388.95	211.31	0.00	4,190.51
精製量の前年同月比	43.7%	98.0%	108.1%	101.8%	34.7%	0.0%	84.0%

※区が事業廃止を決定したため、3月は精製・給油実績なし

④ 金属類の資源化事業

粗大ごみから、鉄等の有用金属を分解・選別・保管し、資源化事業者へ引き渡した。

＜金属類（鉄・非鉄・有害）の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
鉄類 (t)	29.55	32.84	32.64	32.44	31.28	29.38
非鉄類 (t)	3.71	3.90	4.24	4.55	4.36	4.43
有害金属 (t)	5.11	5.08	5.03	5.40	5.57	4.96
計	38.37	41.82	41.91	42.39	41.21	38.77
前年同月比	94.2%	95.0%	108.7%	121.9%	116.3%	105.7%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
鉄類 (t)	32.84	30.79	35.88	27.97	28.40	32.34	376.35
非鉄類 (t)	4.37	4.33	5.00	4.24	3.99	4.32	51.44
有害金属 (t)	5.09	6.79	7.20	5.07	5.53	5.50	66.33
計	42.30	41.91	48.08	37.28	37.92	42.16	494.12
前年同月比	106.0%	103.7%	99.0%	109.1%	103.7%	105.3%	105.2%

⑤ 小型家電製品の資源化事業

区内16か所に設置している小型家電製品の回収ボックスから、回収した携帯電話を含む小型家電製品を品目毎（9品目）に選別し、資源化事業者へ引き渡した。

＜小型家電の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
個数	2,783	2,475	2,402	1,991	1,592	2,445
回収量 (kg)	414.2	388.3	345.2	293.7	224.7	360.8
量の前年同月比	86.2%	93.4%	94.3%	90.2%	77.8%	113.9%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総個数	1,661	2,276	1,923	2,007	1,687	2,286	25,528
総回収量 (kg)	261.9	325.4	315.3	326.2	251.9	404.4	3,912.0
量の前年同月比	78.2%	93.5%	105.3%	84.4%	65.6%	100.2%	89.9%

⑥ ふとんの資源化事業

粗大ごみの中から「ふとん」を選別し、資源化事業者に引き渡した。

＜ふとんの月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
回収量 (t)	8.34	12.14	10.88	11.42	10.10	8.57	
前年同月比	68.5%	88.9%	79.6%	104.2%	131.7%	121.6%	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (t)	10.56	11.61	11.97	9.01	10.17	12.04	126.81
前年同月比	106.67%	104.97%	112.08%	105.88%	122.53%	161.18%	104.72%

⑦ 資源循環の推進に関する相談および普及・啓発

センターに設置してある「見て学べる展示スペース」や太陽光発電等の環境配慮設備等を活用し、資源循環の推進に係る普及・啓発事業を実施した。

ア 相談コーナーの運営

清掃・リサイクルに関する相談を受けるとともに、資源循環に関する書籍等を収集し、区民に情報提供した。

イ 施設見学会の開催

センターは、区の循環型社会の形成をめざした中核的施設と位置付けられていることから、区民、小中学生、保育園児などの施設見学を積極的に受け入れた。

＜施設見学の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
団体数	0	2	1	1	2	1	
団体人数	0	38	25	18	13	16	
個人	0	0	4	0	11	1	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	0	2	0	1	3	0	13
団体人数	0	20	0	19	48	0	197
個人	0	0	1	0	0	1	18

ウ 講習会の実施

ものを大切に、ごみ減量への意識付けの契機となるような講習会を実施した。

○親子バス見学会

実施日 令和元年7月6日(土)

内容 ごみの処理施設や最終処分場を見学し、ごみ処理の流れを理解してもらい、ごみ減量の必要性を理解できた。

参加者 20名

○ふとんの手入れ方法と手作り小座布団講習会

実施日 令和元年9月14日(土)

内容 ふとんの手入れ、打ち直しの説明と小座布団を作成した。

参加者 19名

⑧ 集団回収支援事業

集団回収は、町会・自治会などの団体が、自主的に資源を回収するリサイクル活動で、センターは活動団体を拡大するためのPRや団体と回収事業者間の調整、集団回収に必要な用具類の提供および回収実績の取りまとめ業務等を行った。

また、集団回収活動団体に対しては、区から回収量に応じた報奨金が半年ごとに支給されるため、そのお知らせを8月と2月に発送した。

＜集団回収の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規登録団体数	1	1	1	2	1	0
廃止団体	0	0	0	1	0	0
総登録団体数	637	638	639	640	641	641
回収量（t）	1,034.1	848.0	934.5	723.4	795.0	749.8
前年同月比	105.4%	91.7%	102.0%	89.1%	104.8%	102.1%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規登録団体数	2	5	0	2	2	2	19
廃止団体	0	0	0	0	0	0	1
総登録団体数	643	648	648	650	652	654	
回収量（t）	741.0	816.9	959.5	690.1	838.0	843.9	9,974.2
前年同月比	78.2%	94.6%	91.4%	92.0%	109.5%	100.0%	96.4%

⑨ 生ごみ資源化支援事業

生ごみ処理機、生ごみコンポスト化容器の購入費助成受付と生ごみコンポスト化容器のあっせん受付を行った。

＜平成31年4月～令和2年3月実績＞ 購入費助成件数 6件 あっせん件数 1件

⑩ 大型生活用品情報掲示板事業

区民から申し込みのあった「譲ります」「譲ってください」の情報を一覧にした資料を作成し、区内16か所に設置している情報掲示板に掲示した。

＜「譲ります」の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
掲載件数	20	12	30	21	11	12
成立件数	9	8	18	12	6	8
成立率	45.0%	66.7%	60.0%	57.1%	54.5%	66.7%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
掲載件数	26	25	18	16	23	27	241
成立件数	9	8	5	5	13	12	113
成立率	34.6%	32.0%	27.8%	31.3%	56.5%	44.4%	46.9%

＜「譲ってください」の実績（平成31年4月～令和2年3月）＞ 掲載24件 成立0件

⑪ 資源循環の推進に係る民間事業者等の支援・育成事業

集団回収を実施する予定の団体へは、回収予定事業者の案内や説明を実施した。

また、回収事業者へ集団回収できる品目（古紙、古布、びん、缶）を積極的に回収するよう協力要請を行っていくとともに、支援・育成にも努めた。

(4) 区民・事業者との協働の推進

区民と事業者とのネットワークづくりを推進するため、集団回収実践団体と資源回収している区内事業者との地域懇談会を3月下旬に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

4 可燃ごみ・不燃ごみの収集に関する事業[定款第4条第1項第6号]

公社は、公衆衛生の向上や環境保全を図るため、平成27年度から区の可燃ごみ・不燃ごみの収集業務の一部を区から受託し、実施した。

(1) 可燃ごみの収集事業

家庭などから排出される可燃ごみを週6日(日曜日を除く)、資源・ごみ集積所から収集して区が指定する清掃工場に搬入した。公社は、区の作業計画に基づき、収集計画の作成および収集作業を行った。

月曜日から水曜日の収集作業は、1台あたり一日6回行い、木曜日から土曜日は、1台あたり一日4回行った。

<可燃ごみ収集の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
回収量(t)	3,977.15	4,401.26	3,782.56	4,199.25	3,838.30	3,780.60
区全体量(t)	9,989.53	10,998.24	9,509.79	10,552.05	9,657.12	9,492.30
公社収集比率	39.81%	40.02%	39.78%	39.80%	39.75%	39.83%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量(t)	4,063.74	3,794.68	4,031.57	4,112.37	3,485.51	3,980.40	47,447.39
区全体量(t)	10,218.48	9,564.86	10,133.92	10,322.08	8,827.28	10,044.66	119,310.31
公社収集比率	39.8%	39.7%	39.8%	39.8%	39.5%	39.6%	39.8%

(2) 不燃ごみの収集事業

家庭などから排出される不燃ごみを週3日、資源・ごみ集積所から収集し、区が指定する中間処理施設に搬入した。公社は、区の作業計画に基づき、収集計画の作成および収集作業を行った。

収集作業は、木曜日から土曜日に行い、1台あたり一日2回行った。

<不燃ごみ収集の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
回収量(t)	190.61	193.08	182.86	161.47	144.19	190.77
区全体量(t)	448.28	445.24	422.58	381.18	345.13	453.23
公社収集比率	42.52%	43.37%	43.27%	42.36%	41.78%	42.09%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量(t)	169.60	175.47	220.20	161.51	173.05	190.56	2,153.37
区全体量(t)	399.77	408.63	510.81	378.02	408.63	438.60	5,040.10
公社収集比率	42.4%	42.9%	43.1%	42.7%	42.3%	43.4%	42.72%

(3) 収集拠点の運営

可燃ごみ・不燃ごみの収集拠点として、区東部地域は、桜台事業所を利用している。区西部地域は、区の石神井清掃事務所4階を石神井分室として利用している。この両施設を収集拠点としての機能維持に努めた。

5 地球温暖化の防止対策に関する事業〔定款第4条第1項第7号〕

公社は、区から受託している練馬区地球温暖化対策地域協議会（以下「協議会」という。）事務局運営業務を円滑に執行するとともに、協議会事業を推進した。

(1) 令和元年度の事業

① 環境イベント等の開催、出展

○第9回ねりまエコスタイルフェア

節電、省エネ・省資源につながる展示・体験・トラックステージ等を通じて「環境に配慮したライフスタイル」を推進することを目的に、練馬まつりと同時開催で「第9回ねりまエコスタイルフェア―地球に人に優しく暮らす―」を実施した。協議会は区とともに主催者となり、フェア全体を運営するほか、協議会のブース出展・トラックステージ・クイズラリーの運営等を行った。公社からは、資源循環センター、自転車事業課がブース出展した。

日時：令和元年10月20日（日）10時～16時

会場：としまえん

主催：協議会、練馬区

内容：楽しみながらエコの知識が身につくクイズやゲーム、リサイクルや自然の大切さを感じる体験やパネルシアター、電気自動車によるデモンストラーション、環境関連の各種補助金・支援策の紹介、フードドライブ等

出展団体数：25団体

アンケート回答者数：2,546名

○スタート！エコライフ2019（環境月間関連行事）

温室効果ガスの排出を抑制することを目的に、家庭でのエコなライフスタイルを紹介する展示・体験イベント「スタート！エコライフ2019」を開催した。練馬区の環境月間行事への協賛事業として協議会会員団体を中心となり、関係する企業・団体と協働で住宅設備や家電に関わる環境配慮型製品の展示や家庭から始められる楽しいエコライフを紹介した。

日時：令和元年6月3日（月）～5日（水）10時～16時

会場：練馬区役所本庁舎1階アトリウム

出展団体数：12団体

スタンプラリー参加者数：362名

○ロハスフェスタ東京 2019 への後援・ブース出展

ロハスフェスタ実行委員会主催の環境イベント「ロハスフェスタ東京 2019」(令和元年9月14～16日 都立光が丘公園)について後援名義の使用を承認するとともに、15日・16日にブース出展し、クイズ&アンケートを行った。また、マスコットキャラクターを活用し、協議会のPR活動を行った。

クイズ&アンケート回答者数：1,648名

○練馬こぶしハーフマラソン 2020 へのブース出展【開催中止】

3月22日(日)に出展を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、練馬こぶしハーフマラソン実行委員会がマラソンおよび付帯イベントの開催中止を決定したため、ブース出展を取り止めた。

② 区民向け講演会・講習会の開催

○環境月間講演会(環境月間関連行事)

練馬区の環境月間行事への協賛事業として実施し、日本における家庭部門のCO₂排出量を削減するために「自分ができること」についての講演会を開催した。

演題：「自分でできるCO₂の削減 ～私たちの生活と地球温暖化の関係」

日時：令和元年6月2日(日) 10時～正午

会場：練馬区役所地下多目的会議室

講師：国立環境研究所 金森 有子 氏

参加者数：80名

○環境野外講座

子どもから大人までを対象に、五感を使って楽しみながら地球や自然の大切さを学ぶ講座を開催した。

演題：「地球と自然の大切さを学ぼう」

日時：令和元年11月10日(日)

午前の部 9時45分～12時15分 午後の部 13時15分～16時15分

会場：国営昭和記念公園

講師：前杉 昌枝 氏(富良野自然塾東京校インストラクター) ほか

参加者数：94名(子ども55名 大人39名)

○事業者向け講習会

東京商工会議所練馬支部会員の事業者を対象に、東京都の省エネルギー施策のうち中小企規模事業所向け支援策について紹介した。

演題：「東京都の省エネ施策」

日時：令和元年7月18日(木) 13時15分～13時30分

会場：ココネリホール

講師：東京都地球温暖化防止活動推進センター 北澤 嶺 氏

対象：東京商工会議所練馬支部参加事業所

参加者数：100 名程度

資料提供：100 名程度

○省エネルギー月間講演会【開催中止】

2月23日（日）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、2月21日（金）に開催中止を決定した。予定していた企画は以下のとおり。

演題：「快適・安全なすまいのつくりかた

～ネットゼロエネルギー住宅（ZEH）の現状と課題」

日時：令和2年2月23日（日）10時～正午

会場：練馬区立石神井公園区民交流センター

講師：芝浦工業大学建築学部教授 秋元 孝之 氏

申込者数：103 名

③ 青少年向け啓発事業

○第9回こどもエコ・コンクール

小学校3年生から中学校2年生までを対象に、環境をテーマとした作品を募集し、入賞作品を「第9回ねりまエコスタイルフェア」で発表した。また、作品をマウスパッドにして配布し、地球温暖化対策の啓発に活用した。

さらに、入賞作品、および小・中学生部門よりそれぞれ約100作品を、区が主催している「環境作文コンクール」と合同で練馬区役所本庁舎1階アトリウムにて展示した。

募集期間：令和元年7月21日（日）～9月6日（金）

応募数：1,291件（小学生640件、中学生651件）

アトリウム展示期間：令和2年1月16日（木）～1月24日（金）

○地球温暖化防止月間講演会

地球環境を維持するために海が大きな役割を担っていることを学び、私たちができる対策について考える講座を開催した。また、こどもエコ・コンクールの入賞作品を会場内に展示した。

演題：「地球温暖化のしくみと海の役割 ～私たちができること～」

日時：令和元年12月1日（日）10時～正午

会場：練馬区役所地下多目的会議室

講師：北海道大学名誉教授 池田 元美 氏

参加者数：72 名

展示：講師パネル9枚、こどもエコ・コンクール入賞作品パネル16枚

○マスコットキャラクター「ねりねこ☆多・ねりこん vv が行く」

協議会の活動内容を広く周知するとともに、温暖化対策への区民の理解をさらに深めていくため、協議会主催のイベントや区内の地域行事でマスコットキャラクターを活用してPR活動を行った。

活動回数：延べ15回

- 6/2 環境月間講演会
- 6/3～5 スタート！エコライフ2019
- 6/16 環境月間イベント(春日町リサイクルセンター)
- 8/1 江古田ゆうゆうロード打ち水大作戦(練馬区環境課)
- 9/15 ロハスフェスタ東京2019 ※16日は雨天のため出演中止
- 9/28 ふれeyeまつり(大泉障害者支援ホーム)
- 10/20 ねりまエコスタイルフェア
- 10/27 中村東ふれあいフェスタ(中村東ふれあいフェスタ実行委員会)
- 11/2 ふれあい秋まつり(東京高次脳機能障害者支援ホーム)
- 11/2 関町フェスティバル(関町福祉園)
- 11/10 上石神井地区祭(上石神井地区祭実行委員会)
- 12/1 地球温暖化防止月間講演会
- 1/13 成人の日のつどい(練馬区青少年課)

④ 地球温暖化対策の調査・区民支援事業

○ねり☆エコ e-ラーニング

自宅のパソコンやスマートフォン等でアクセスできる地球温暖化や省エネに関するクイズ形式のページ(e-ラーニング)を、ねり☆エコホームページ内に設置した。クイズの設問は、協議会の担当委員会議やエネルギー・スキルアップ講座(平成27年～29年実施)修了者による意見交換を経て作成した。

公開日：3月30日(月)

設問：地球温暖化対策編 10問

ねりまのエコ編 10問

公開URL：<http://www.nerieco.com/elearning/>

⑤ 広報業務

○協議会ホームページの運営

地球温暖化対策や協議会の活動等について、区民等に普及啓発を図るため、ホームページを随時更新した。

ホームページ更新回数：54回

令和元年度閲覧数：45,757件

○メールマガジン・ダイレクトメールによる事業周知

地球温暖化に関するニュースや協議会の事業案内についてメールマガジンを配信した。また、郵送を希望した区民等へは事業案内のダイレクトメールを送付した。

メールマガジン登録数：284件（前年度比33増）

メールマガジン配信回数：6回

ダイレクトメール登録数：322件（令和2年3月31日現在）

⑥ 会員事務

○会員に関する事務

会員の名簿作成および維持管理に係る業務

○協議会の各種会議運営業務

総会1回 役員会3回 事業部会6回 担当委員会議4回

○協議会の窓口業務

電話・訪問等への対応、会員や協議会が行う事業の出演者・出展者との連絡や折衝等、協議会に関するプレス対応、協議会が行う事業の円滑な運営への支援等

⑦ その他

○マスコットキャラクターの着ぐるみ1体の更新

平成30年度に更新したマスコットキャラクター「ねりねこ☆彡」の着ぐるみ更新に続き、令和元年度は「ねりこんv v」の着ぐるみをエアー式に更新した。

Ⅶ 評議員会および理事会の開催状況

定款第 17 条および第 30 条の規定に基づき、令和元年度に開催した評議員会および理事会はつぎのとおりである。各案件について決議を得た。

1 評議員会の開催状況

回数	開催年月日等	案	件
文書による同意	平成 31 年 4 月 1 日 (月)	議案第 1 号	公益財団法人練馬区環境まちづくり公社常勤理事の報酬月額および 6 月支給賞与額について
第 1 回	令和元年 6 月 14 日 (金) 出席評議員 7 名 出席監事 2 名	議案第 2 号 議案第 3 号 議案第 4 号 報告第 1 号	平成 30 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業報告について 平成 30 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社決算について 理事の選任について 規程等の制定および一部改正について
第 2 回	令和元年 11 月 11 日 (月) 出席評議員 6 名	議案第 5 号 報告第 2 号 報告第 3 号 報告第 4 号 報告第 5 号 報告第 6 号 報告第 7 号	公益財団法人練馬区環境まちづくり公社常勤理事の 12 月支給賞与額について 不燃ごみ資源化事業の受託について 公益財団法人変更認定申請について 令和元年度上半期事業執行状況について 令和元年度上半期予算執行状況について 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社経営計画策定方針について 規程等の制定および一部改正について
第 3 回	令和 2 年 2 月 10 日 (月) 出席評議員 4 名	報告第 8 号 報告第 9 号 報告第 10 号 報告第 11 号 報告第 12 号	公益認定の変更届について 令和元年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社補正予算 令和 2 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業運営方針 令和 2 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業計画 令和 2 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社予算

第4回 文書 による 報告	令和2年3月12日(木)	報告第13号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公 社中期経営計画の策定状況について 報告第14号 規程等の制定および一部改正について
------------------------	--------------	--

2 理事会の開催状況

回数	開催年月日等	案 件
第1回	令和元年5月27日(月) 出席理事 14名 出席監事 1名	議案第1号 平成30年度公益財団法人練馬区環境ま ちづくり公社事業報告について 議案第2号 平成30年度公益財団法人練馬区環境ま ちづくり公社決算について 議案第3号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公 社経営理念・経営方針の一部変更につい て 議案第4号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公 社社員就業規則の一部改正について 議案第5号 評議員会の開催について 報告第1号 規程等の制定および一部改正について 報告第2号 理事長・常務理事の職務の執行状況報告 について
第2回	令和元年6月14日(金) 出席理事 14名 出席監事 2名	議案第6号 理事長の選定について 議案第7号 常務理事の選定について
第3回	令和元年11月11日(月) 出席理事 13名 出席監事 2名	議案第8号 不燃ごみ資源化事業の受託について 議案第9号 公益財団法人変更認定申請について 議案第10号 評議員会の開催について 報告第3号 令和元年度上半期事業執行状況につい て 報告第4号 令和元年度上半期予算執行状況につい て 報告第5号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公 社経営計画策定方針について 報告第6号 規程等の制定および一部改正について 報告第7号 理事長・常務理事の職務の執行状況報告 について

文書 による 同意	令和元年11月25日(月)	議案第11号 評議員会の開催について
第4回	令和2年2月6日(木) 出席理事 10名 出席監事 2名	議案第12号 公益認定の変更届について 議案第13号 令和元年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社補正予算 議案第14号 令和2年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業運営方針 議案第15号 令和2年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業計画 議案第16号 令和2年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社予算
第5回 文書 による 同意	令和2年3月12日(木)	議案第17号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社社員就業規則の一部改正について 議案第18号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社社員給与規程の一部改正について 議案第19号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業決定規程の一部改正について 議案第20号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社文書管理規程の一部改正について 議案第21号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社財務規程の一部改正について 議案第22号 評議員会の開催について 報告第8号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社中期経営計画の策定状況について

Ⅷ 評 議 員 名 簿

令和2年3月31日現在

役 職 名	氏 名
評 議 員 評 議 員 評 議 員 評 議 員 評 議 員 評 議 員 評 議 員	横 山 正 二 秋 山 勉 中 村 壽 宏 高 橋 利 充 石 塚 康 夫 植 田 敏 裕 古 橋 千重子

区 役 員 名 簿

令和2年3月31日現在

役 職 名		常・非	氏 名
理 事	理 事 長	常 勤	乾 嘉 行
	常務理事	常 勤	郡 郡 榮 作
	常務理事	常 勤	内 木 宏
	理 事	非常勤	篠 利 雄
	理 事	非常勤	阿 部 財 智
	理 事	非常勤	横 倉 尚
	理 事	非常勤	高 橋 司 郎
	理 事	非常勤	鈴 木 正 邦
	理 事	非常勤	本 橋 正 寿
	理 事	非常勤	森 田 勇
	理 事	非常勤	大 澤 琢 朗
	理 事	非常勤	原 澤 大
	理 事	非常勤	新 堀 桂 三
	理 事	非常勤	金 沢 景 一
監 事	監 事 監 事	非常勤 非常勤	小 貫 裕 文 佐久間 太 志